

ごあいさつが遅れました。私、^{とうか}橙花と申します。カバラ数秘術を研究している者です。このたびは、「相性を知る本」を手に取ってください、ありがとうございます。

「相性」というと、思い浮かべるのはやはり恋愛関係。「大好きな○○君との相性がいいか悪いか知りたい♥」というやつですね。でも、本書は少しだけ違います。

この本は、数秘の知識を使って、人間関係の悩みを軽くすることを目的に作られました。

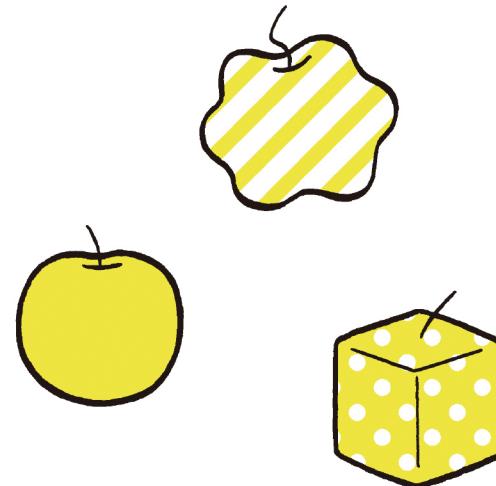
羽が生えたように心と体が軽くなればいいな！と思っています。



私は日々、鑑定を通じて多くの人のお悩みを伺う機会があるので、ほとんどの悩みが人間関係についてのものです。

そして、さらに単なる「事実や現象」が「悩み」となってしまうのは、自分の「ふつう」が相手の「ふつう」だと当たり前のように考えていて、「相手に変わってほしい」と思っているからだと気がつきました。

そこで冒頭のリンゴです。



自分の「ふつう」は、他人の「異常」(笑)。
自分と他人は、ぜんっぜん違うのです。